

学ぶ育てる

「選ばれる学校」へ 授業改革負担重く

課題見えてきた選択制度…評価も分かれ

学校選択制度のもと、「選ばれる学校」に向け、各校があの手この手で特色ある授業づくりに取り組んでいる。努力が実って新入生が増えた学校もあるが、学校現場への負担は重い。選択制に対する評価も、保護者は高いが、教員は否定的だ。
【山本紀子、写真も】

新 教育の本林

◆横並びでなくても

東京江東区立深川第六
中の教員は夏休みの夕刻、
学校のパンフレットを手に、
地元の小学校6年生を回る。
新入生が5人に落ち込
んだ4年前から始めた。六
中には行きませないとい
けない反応もあったが、最
近では「苦勞様です」との
声も返ってくる。

基礎学力向上にも際を練
っている。集中力を高めら
れるよう50分授業を45分
に縮め、1日7時間体制に
した。月1回、土曜日に大
生を講師に迎え、英検取
得を目指す生徒向けに英語
教室を開いている。月末

に全校生徒が泊る日、富
士山のふもとで勉強する夏
合宿が今年から始めた。

八名川小の学校説明会では、東京ディズニーランドで働く
スタッフを招き、掃除の仕方学ぶ授業も公開された

一部活や進学で大規模校
と競うのは難しいが、小
いなではの特色を伸ばせ
る。学校は全部横並びでな
くてもいい」と松本校長は
話す。悩みは教員数が少な
く、行事対応や事務処理で
教員が忙しいのだ。

数年前は新入生が20、30
人だった江東区立八名川
小。年々志願者が多くなり、
昨年は初めて抽選を行い今
春、70人が入学した。先月
の学校説明会では、幼児を連
れた保護者が会場がすし詰め
となった。

◆外部人材や施設活用
八名川小は、外部の人材
や施設を積極活用した多彩

な授業が特徴だ。プロ野球
選手や外務省官僚を講師に
招き、区の陸上大会や水泳
大会なども子どもの参加を勧
めてもいい」と松本校長は
話す。悩みは教員数が少な
く、行事対応や事務処理で
教員が忙しいのだ。

保護者は満足していても

教員はデメリット指摘

選択制に対する保護者と
教員の受け止め方は対照的
だ。
保護者は賛成派が圧倒的
に多い。制度をいち早く導
入れた品川区では、今春の
区民調査で「制度に満足」
が45%、「不満」が14%
「どちらでもない」が
31%だった。

一方、賛成の音が相次ぐ。
5年生男児の40代の母親
は「昔は無縁を言わず近
くの学校に行っていたけれ
ども、今は時代が違い、選べるも
のなら選びたい。地元の学
校は少人数で不安だった。
友達も多い方がいいという大
きな学校にしたという。
長男の小学校を思案中と
いう父親(44)は「公教育な
のでどの学校も大きな差は
ないと思うが、選べる方が
いい。学校公開もあるし、
自分の目で確認できる」。
私立中受験を念頭に長女の
小学校選びをしている母親
(43)は「学力を伸ばして
くれる学校に行かせたい。選
べるのと違って迷いますが
……」とつぶやいた。

校区と地域の一体感重視

◆忙しさに追われて
一方、教員には反対の声
が多い。練馬区が今年2月、
制度の課題を洗い出そうと
と、区立中の教員49人、
保護者・生徒1945人を
対象に行ったアンケートは「教員
で、否定的な見方が顕著に
出た」。
選択制導入で子どもが
充実した学校生活を送って
いるか」という問いに「そ
う思う」と答えたのは、保
護者・生徒の76%に対し、
教員は38%だった。教員は
「どちらでもない」が
43%で最多、懐疑的な声
が目立つ。
制度のメリットとメリ
ットを計9項目挙げて複数
に根ざした学校づくりが必要」として
導入の予定はない。



八名川小の学校説明会では、東京ディズニーランドで働くスタッフを招き、掃除の仕方学ぶ授業も公開された

◆実施中の各地で見直しの動き
練馬区では、保護者や小中学校長ら
で作る「区立中学校選択制度検証委員
会」が今年7月、「生徒数の格差が広
がり、減少校では活気の低下や教員や
部活動指導への影響が出ている」との
報告書を出した。区教委は来年度に改
善策を打ち出す予定だ。墨田区と東京
都多摩市も関係者にアンケートを行
い、見直し策を検討する。

東京都内と一部の地方都市に広がる
選択制だが、一定の信念のもとに導入
しないと決めた自治体もある。
東京都23区で最大の人口を抱える世田
谷区。区教委は「選択制のもとでは、
地域の子どもは地域ではくむ方針を達成
しにくくなるので導入しない」という。
東京都三鷹市でも、校区を維持して地
域一体で子どもを育てる方針から公立
小中一貫校化を進め、選択制は取り入
れない。